

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG Nov.2020

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

# TOP MESSAGE

齊藤幸平『人新世の資本論』を手にとってみた。結論的にいえば、資本主義を続けると地球環境は破たんします、という仮説です。マルクスへの回帰を謳う齊藤先生。いな、マルクスの資本論には続きがあり、延長線上にいままでいう環境問題、すなわち資本主義の限界としての環境問題を探究していたという。なるほど、それもそうかも。

で、どうすれば？ 齊藤先生いわく、「コモンズ」への回帰と仰せられる。しかしこの点、論旨の展開が弱い。本家本元のスラヴォイ・ジジエクに及ばないレベル。生意気にも私はかように批評する。いまいち論点がみえるようで、みえない齊藤先生。ただ、あの米国でさえ、今回の大統領選でアンティファなるものが台頭してきた。世界の若者を中心に季節は紅づいていくようだ。環境問題をテコに100年ぶりに紅組リバイバルとなりますか。

サンシングループ代表取締役社長  
博士経営学 石井宏宗

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

今年も年末が近づいてまいりました。2020年はCOVID-19を抜きには語れない、人類の生活様式を根底から覆す激動の年となりました。皆様にとって、2020年はどのような年だったでしょうか。それとも、あと1ヶ月、どのような年にしますか？ (Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

COVID-19 disease is an infectious disease caused by a newly discovered corona virus strain.WHO has declared COVID-19 to be a PANDEMIC. Our nation has geared up to combat the Pandemic with proactive measures in line with global approaches and guidelines from the Ministry of Health & Family welfare, and the Ministry of Home affairs. (P.S.)

## CSI

普段は特に四季を感じにくいセブですが、クリスマスが近づいてくると変化を感じます。11月になりクリスマスの電飾が付き始めましたが、今年は自粛なのか、装飾は無く、青と白のLED電飾のみが多いです。(K.S.)

## SANSHINWest

コロナがまた増加してきています。専門家によるとやはり手洗いの効果が大いようで、石鹸がない場合は流水で15秒間流すだけでも効果があるようです。アルコール消毒も指先から揉みこむのが良いようです。しっかり対処していきましょう。(Y.K.)

## SHINKOWA

今年は台風の影響が無く、収穫後の落花生を乾燥させるブルーシートを被せたポットが沢山みられます。ただ、乾燥させる時期に日あたりが少なかったようで時間がかかっている模様です。(M.N.)

## SC2

新型コロナウイルスが再び広がっています。東京600人越えも時間の問題でしょう。手洗いが予防の基本ですが、実は天然石鹸に含まれる「オレイン酸カリウム」が新型コロナウイルスを99.99%以上不活性化させることがわかっています。まめな手洗いには純石鹸を。私はミニサイズの「バブルガード」を持ち歩いています。(M.I.)

# ESG Report (品質)

# 今月のTOPICS

## 心からリラックスするために出来ること

日頃からリラックス出来ていますか？ 常にストレスにさらされていたり、仕事中毒だったり、健康上の問題を抱えていると、そう簡単にスイッチを「オフ」に出来ないこともあります。そこで、慢性的な緊張状態から抜け出して、肩を休める方法を紹介します。

### ■.日常のストレスに対するリラックス法

- ・日常的に接しているストレス因子を見つけましょう。例えば、誰かのストレスが伝染している場合、その人との距離を置いてみる。
- ・日記・メモをつけることで、物事について深く考える。直接的な行動は出来なくても、日常のストレス対処に役立ちます。
- ・栄養、運動、睡眠を大切に。このうちどれかが抜けると、あなたの健康が損なわれ、ストレスへの対処が難しくなってしまいます。
- ・完璧主義をやめる。自分の限界を知り、自分が制御出来るものと出来ないものを受け入れましょう。

まずは慢性的なストレス因子への対処から始めていきましょう。

### ■.仕事のストレスに対するリラックス法

- ・何も出来ないことが耐えられない場合、読書、散歩、音楽鑑賞などのリフレッシュできるアクティビティを見つけましょう。
- ・デスクでランチを食べない。そもそもデスクでランチを食べると全体の生産性が低下するとも言われています。
- ・テクノロジーから離れる。何らかの通知に常にさらされている状態では、真のリラックスは実現できません。
- ・忙しくて休めないのであれば、断る方法を学びましょう。またスケジュールを整理していきましょう。

リラックスできるアクティビティは人それぞれ、リラックスを習慣にしていきましょう。

長期的に出来るリラックス法の習得を身につけて行きましょう。うまくいかない場合は、根底に心理的・身体的な問題があるなら専門医に助けを求めるのも一つの方法です。専門医であれば、あなたがリラックス出来ない理由を突き止めて、リラックス出来るようになるための治療やその他の解決策を提示してくれることでしょう。

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

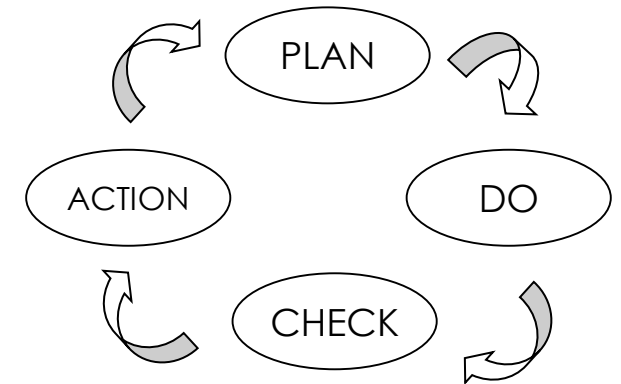
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

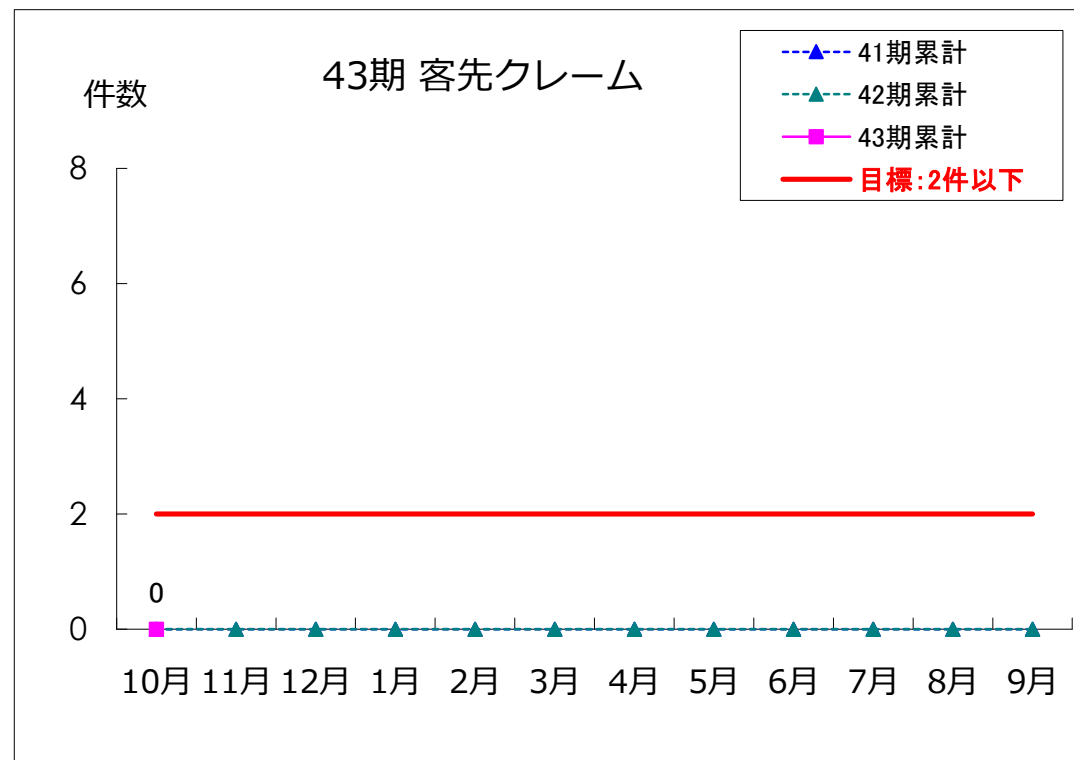
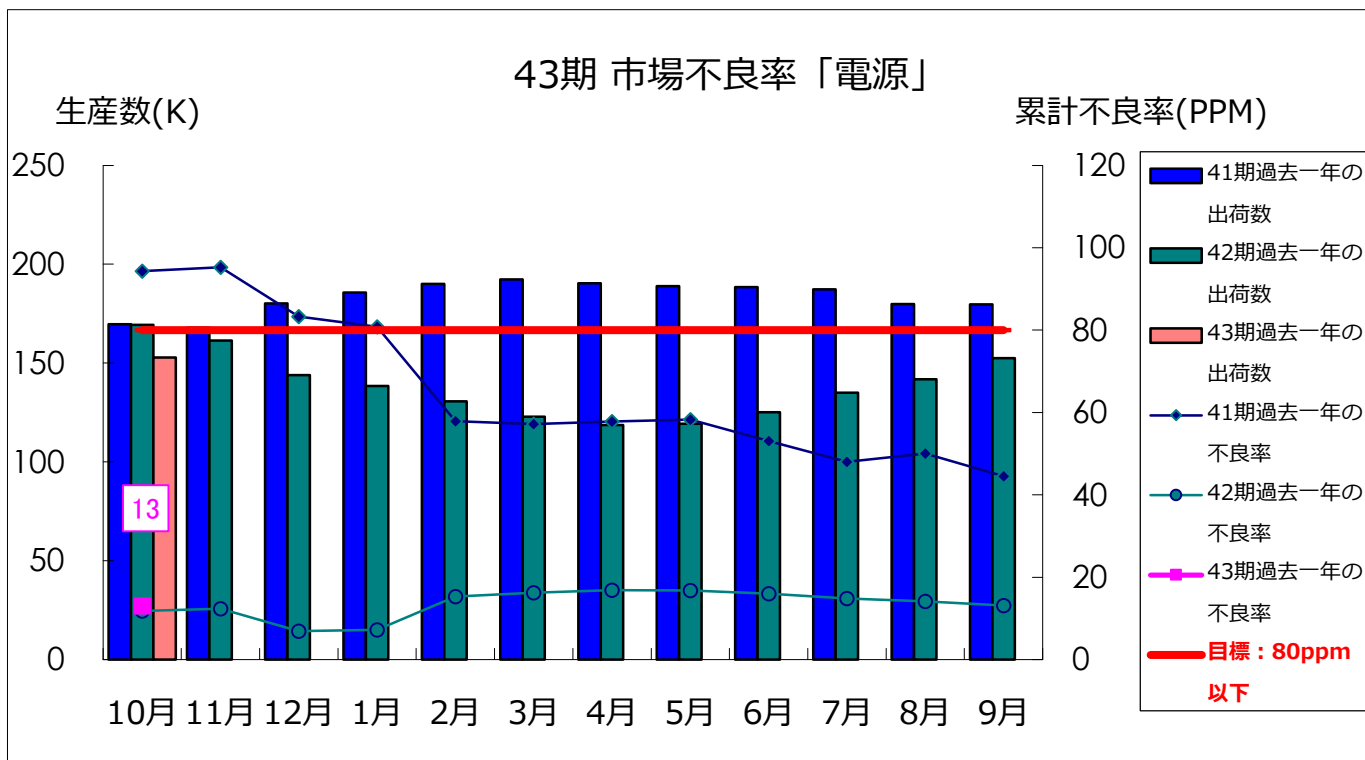
\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。



# 品質状況

納入不良率 目標 . . . . . 80ppm

43期の累計不良率は、13ppm です。  
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



# ESG Report (環境)

# 今月のTOPICS

## □ 地球温暖化対策のために世界の国が結んでいる国際条約は？ 京都議定書、パリ協定とは

地球温暖化から派生する「気候変動」問題は世界でも大きく取り上げられています。問題を解決するためには、単一国家だけでなく世界中の国々が協力する必要があります。このために重要な場とされているのが、国連を中心とした国際会議です。各国の政府代表が集まり、温暖化防止に向けて世界が取り組むべき施策、目指すべき目的について意見を交わしながら合意を目指します。今回は、地球温暖化対策のために世界の国が結んでいる国際条約について紹介します。

## 地球温暖化は世界全体で取り組むべき問題

地球温暖化は世界規模で多くの影響を与えています。

世界の平均気温は上昇傾向にあり、IPCC第5次評価報告書では気温が132年間に0.85°Cの上昇が示されているのです。そのほかにも、雪氷の減少・海面水位の上昇・海面水温の上昇などの問題が気温上昇とともに起こっています。

このような問題に悩まされる中でも、世界全体を見ると二酸化炭素の排出量は増加し続けています。地球規模の問題であるからこそ各国がそれぞれの事情に合わせて対策をしているだけでは不十分なのです。ある国が頑張っているのに別の国が頑張っていないというような不公平な状況が続けば、頑張っている国の中でも国民の不満が高まってくるでしょう。

このような不満を減らしていくためにも世界の国々が共通の目標を定めることが求められるのです。

# 今月のTOPICS

## 国際的な取り決めを設けて各国が努力を行う

世界各国が地球温暖化問題に対して足並みを揃えるために、国際条約や国際会議など、共通の目標を定める目的で度々設けられています。この項目では、これまでにどんな会議・条約があったか紹介します。

### □ 締約国会議（COP, conference of the parties）とは

COPとは締約国会議の略であり、環境問題に限らず多くの国際条約の中でその加盟国が物事を決定するための最高決定機関として設置されています。協議の場は必要に応じてCOP以外にも開催されるが最終決定はCOPでしかされません。つまり、COPの決定を辿っていけばその問題に対する国際的取り組みの歴史が一望できるのです。COPは過去に24回開催されています。

### □ 国連気候変動枠組み条約

国連気候変動枠組条約は、1992年5月に国連総会で採択され、同年6月には国連環境開発会議(地球サミット)で署名が開始されました。この署名には日本を含め155カ国がこの会議で条約に署名しています。条約の究極の目的は、「温暖化防止のため大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させること」と定義。条約の主な内容には、以下の通りです。

全締約国の義務（途上国を含む）	温室効果ガスの排出及び吸収の目録の作成と定期的更新 具体的対策を含んだ計画の作成・実施 目録及び実施した又は実施しようとしている措置に関する情報を締約国会議へ送付
先進国の義務	温室効果ガスの排出量を2000年までに1990年の水準に戻す(努力目標)ことを目的に、 ・温暖化防止のための政策措置を講ずる ・排出量などに関する情報を締約国会議に報告する ・途上国への資金供与、技術移転を行う
気候変動の悪影響への対処	途上国のニーズや関心を満たすために、必要な行動を検討する
途上国に対する資金メカニズム	地球環境ファシリティ(GEF)を途上国の温暖化対策を支援するための資金メカニズムとして指定

# 今月のTOPICS

## 京都議定書

京都議定書は、先進国の温室効果ガス排出量について、法的拘束力のある数値目標が各国に設定されました。先進国全体で2008年から2012年までの約束期間に、削減基準年の排出量から5.2%削減することが約束されたのです。日本は6%(EU8%)の削減を約束していました。主な参加国としてはアイスランド、オーストラリア、ノルウェーなど数多くの国が参加。削減対象ガスとしては、二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素・HFCs・PFCs・SF6が挙げられます。

## パリ協定

パリ協定とは、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みです。1997年に定められた「京都議定書」の後継となるものです。パリ協定では、次のような世界共通の長期目標を掲げています。

「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°より十分低く保ち、1.5°に抑える努力をする」

「そのため、できる限り早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と吸収量のバランスをとる」

パリ協定では、各国に対して目標が設定されます。日本では、中期目標として、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することが目標として定められたのです。この数値は他国と比較しても、かなり高い水準にあるとされています。

# サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



# 活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

# 環境への取り組み

- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）

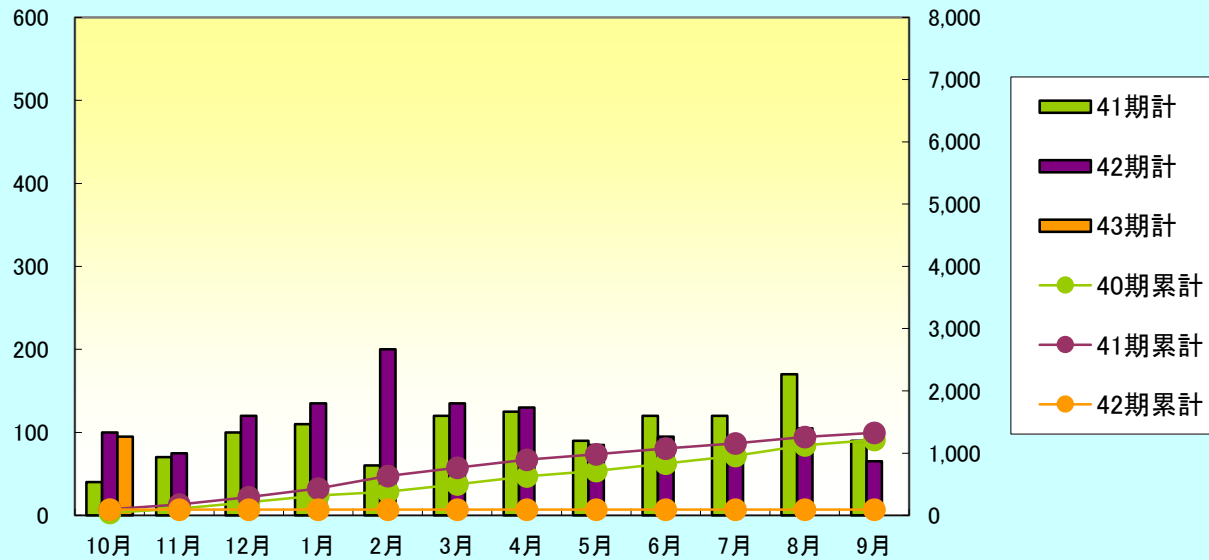




### 一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

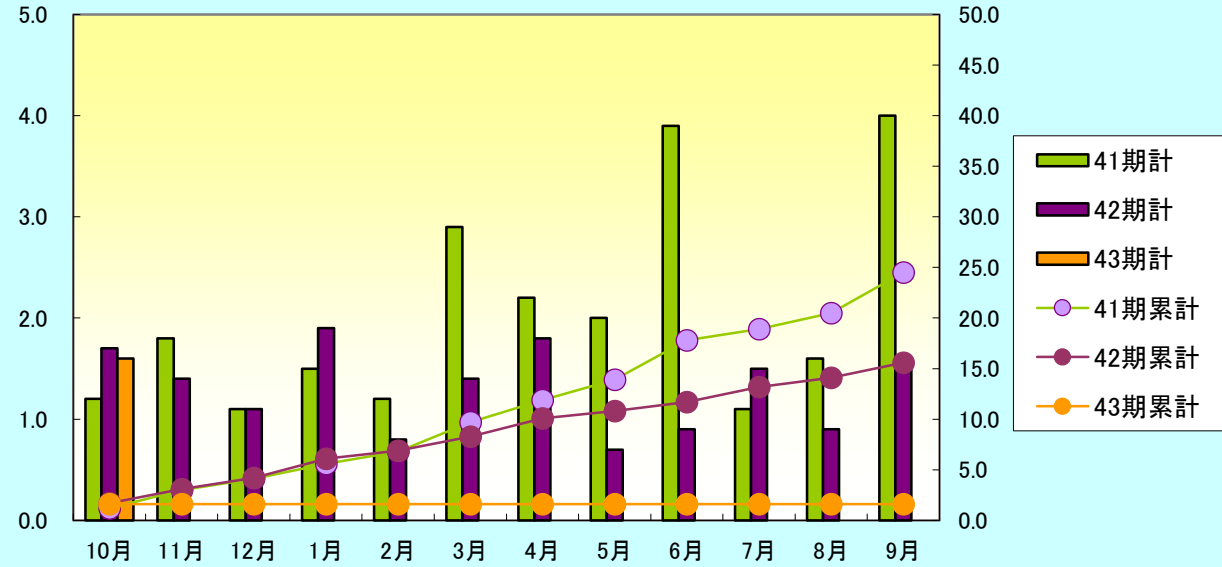
累計/折れ線(kg)



### 一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

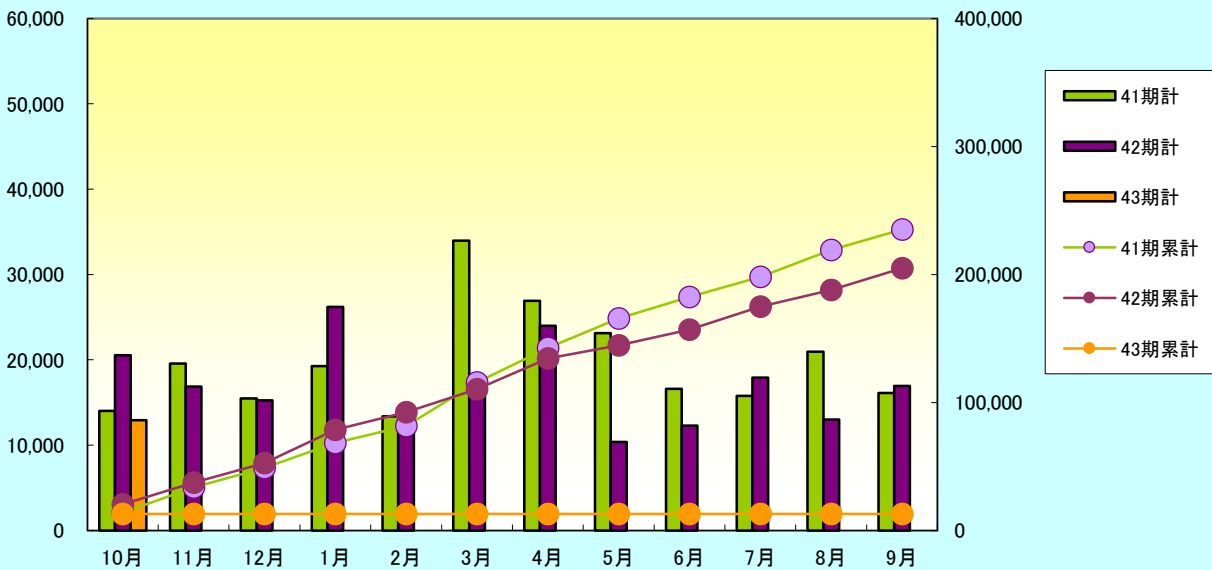
累計/折れ線(m³)



### 廃棄物処理金額累計

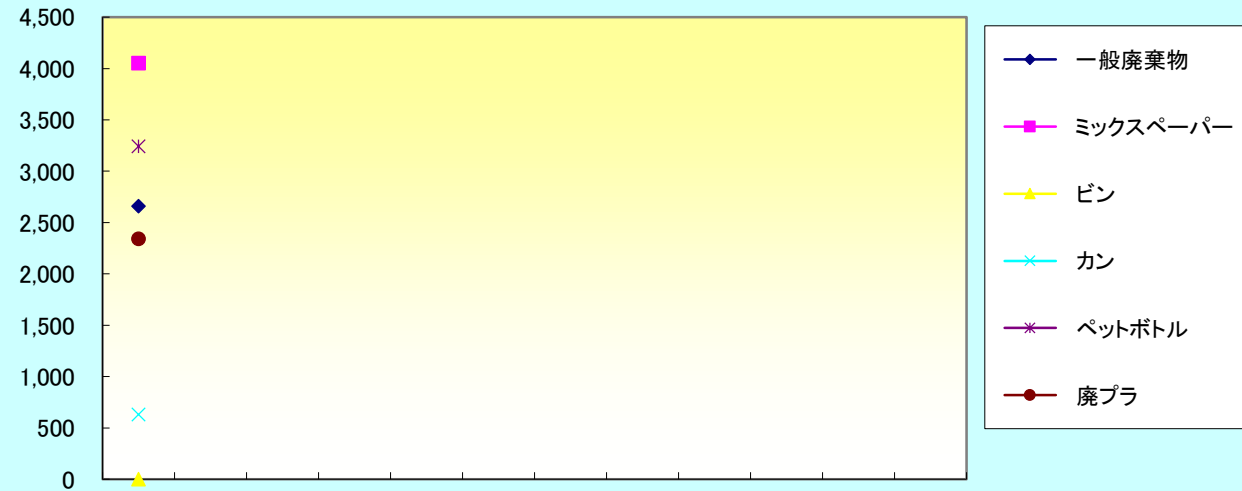
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



### 43期 廃棄物処理金額

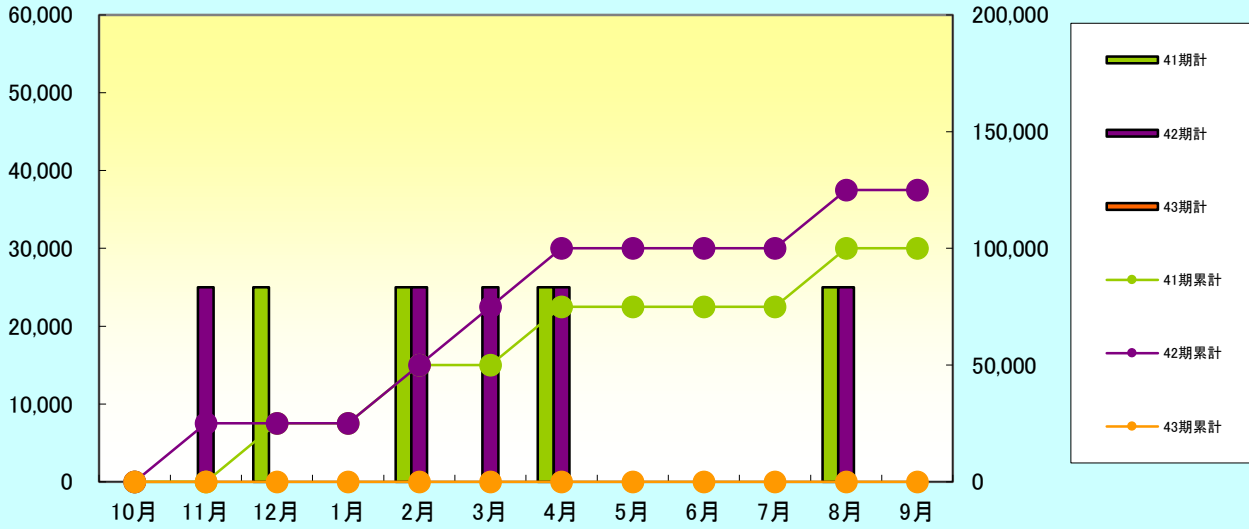
(円)



### コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

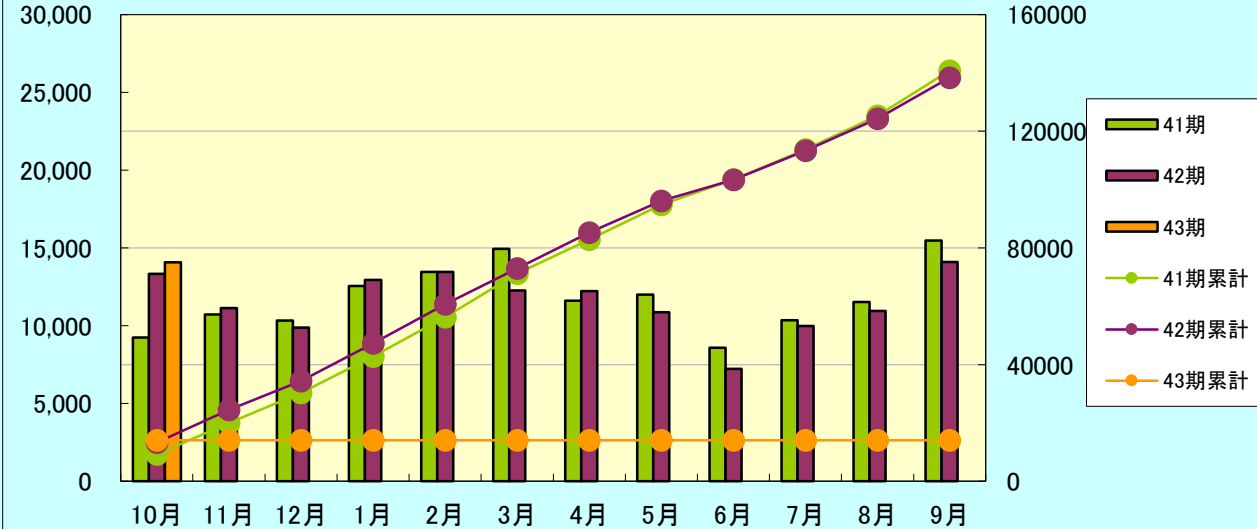
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

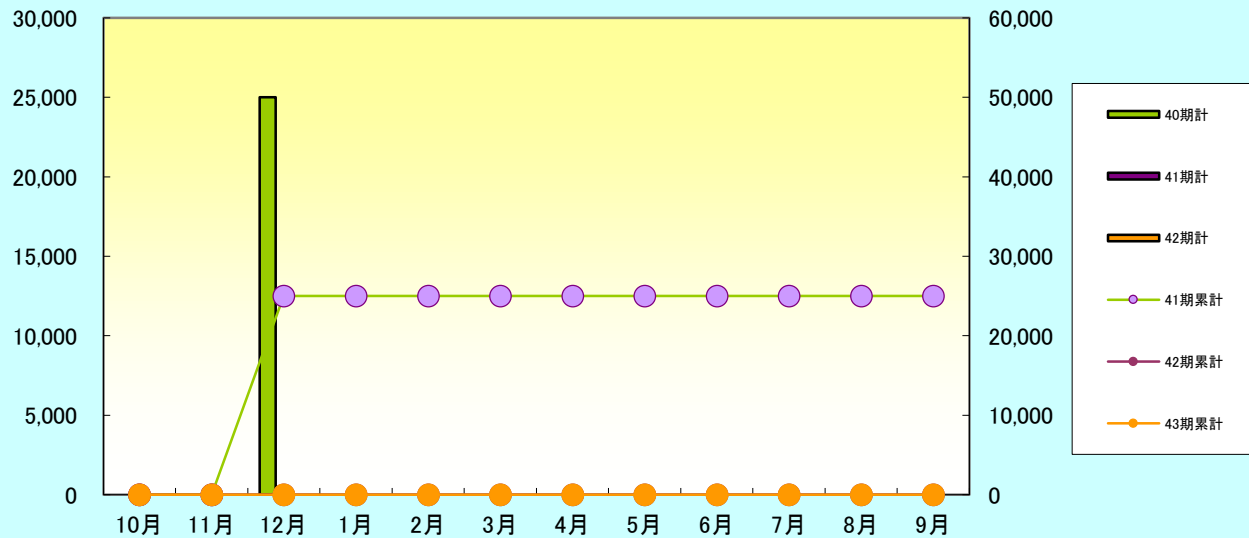
累計/棒折れ線(kwh)



### コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

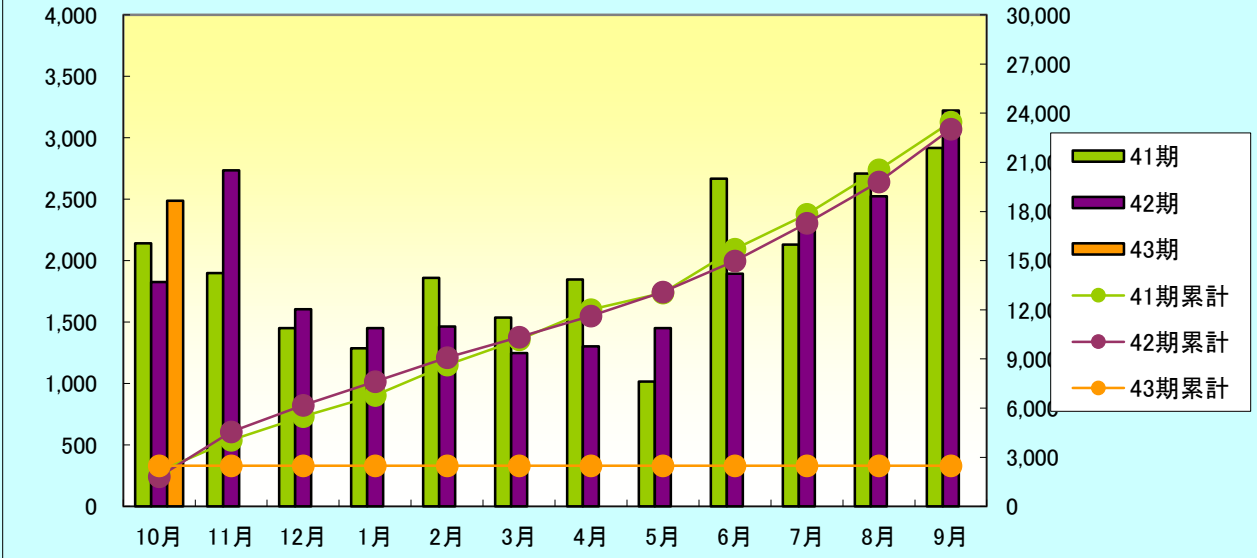
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

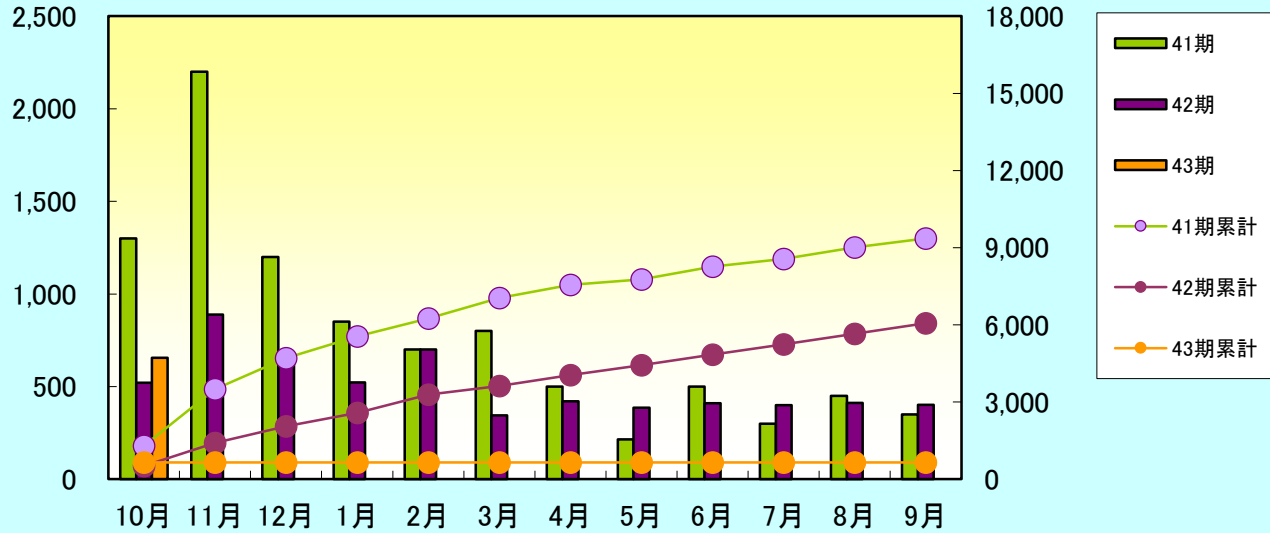
累計/折れ線(kwh)



### ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

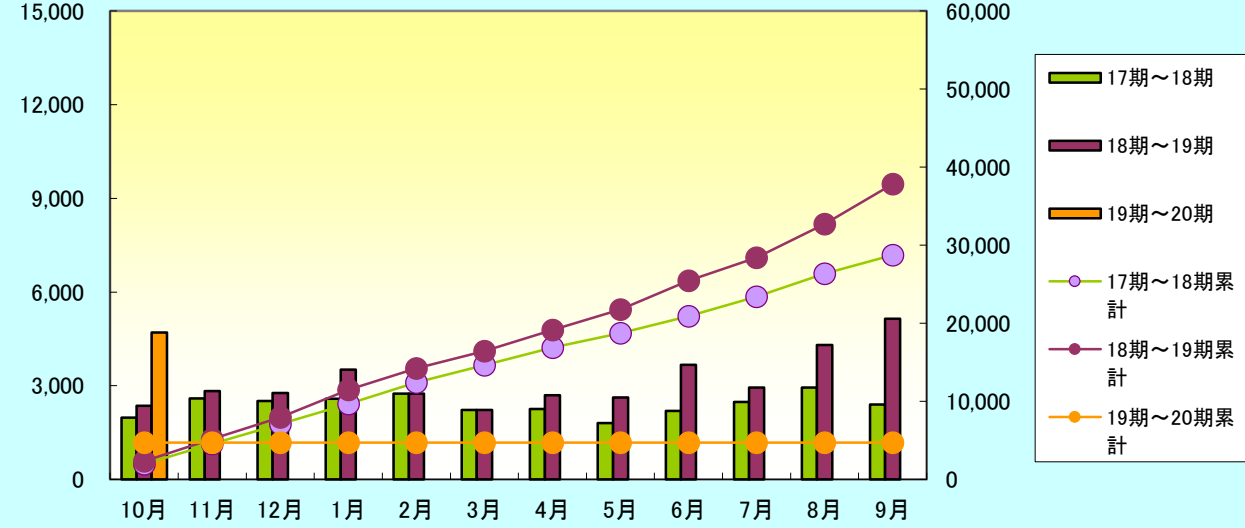
累計/折れ線(個)



### 電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

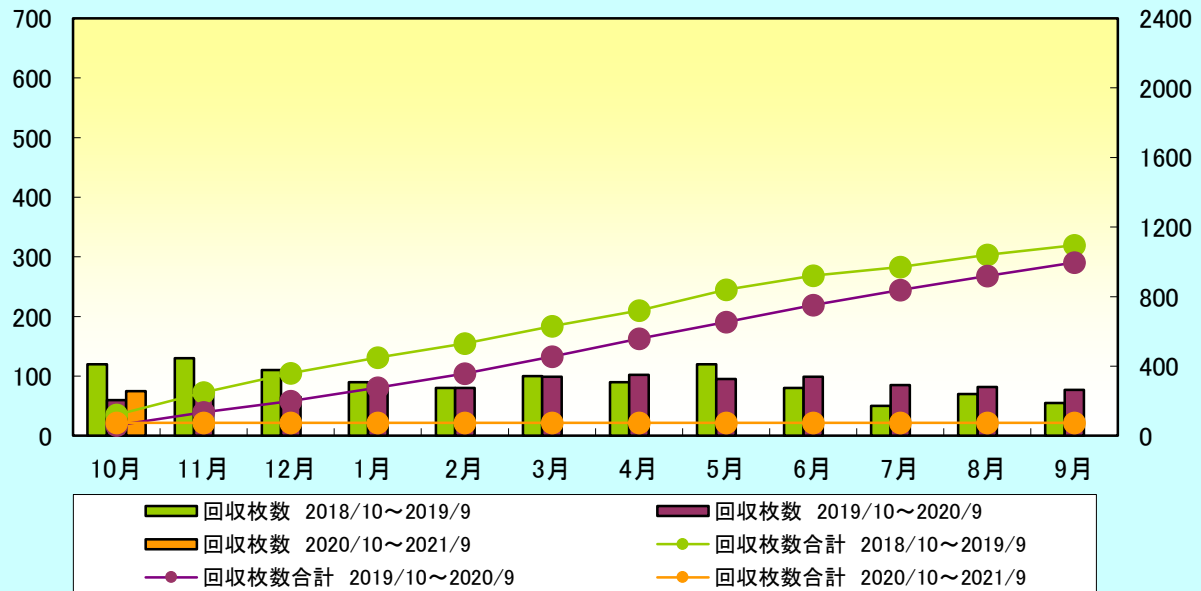
累計/折れ線(kwh)



### 使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

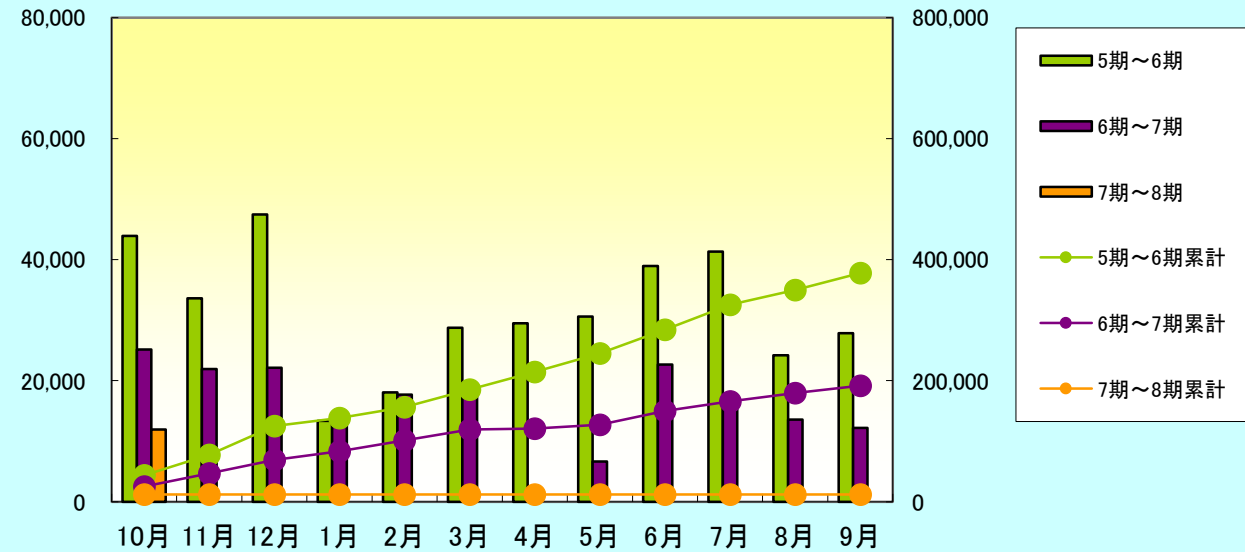
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

### 『健康経営への取り組み～Going Concern with Othersであり続けるために～』

今月は、サンシングループの健康経営(\*1)への取り組みについて、ご紹介致します。

近年、超少子高齢化や定年制の延長などの時代背景と共に、「人生100年時代」という言葉をよく耳にするようになりました。

サンシングループは、もともと経営者の強い意志の元、時流や政策に囚われない様々な先駆的なCSR, ESG, SDGsを推進してきました。そのような活動の中で、健康経営に取り組むきっかけとなったのは、約7年前、社員の平均年齢が40歳を超えたことです（対象：サンシン電気株）。毎年、健康診断は実施しているものの、社員のライフスタイルの変化にあった制度・環境づくりがもっと必要では？という思いから、健全な会社として更なるワーク・ライフ・バランスを向上させるべく、健康経営への取り組みがスタート致しました。

健康経営への取り組み以前から、ICTの活用により育児・介護のし易い環境づくりの一つとして、在宅勤務を推奨・実践していましたが、社員のライフスタイルに合わせてテレワーク勤務やサテライト勤務も出来る環境を整えました。また、前日の勤務終了時から翌日の勤務開始時まで、最長17時間のインターバルを確保できる「リフレッシュ勤務制度」や時間単位の有給休暇取得制度を導入する等、社員のワーク・ライフ・バランスを推奨する仕組みを整えてきました。

# 今月のTOPICS

## 『健康経営への取り組み～Going Concern with Othersであり続けるために～』

また、ヘルスリテラシーの向上として、社内大学で健康経営に関する各種セミナーを開講し、座学だけでなく、プロのトレーナーによる「健康筋力養成コース」をオンラインで開講する等、実際に体を動かす機会も提供しています。身近な運動としては、エレベーターやエスカレーターを利用せず、階段の利用を推奨・実践し、3年連続で東京都の「スポーツ推進企業」、スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」の認定を受けています（認定取得：サンシン電気株）。

そして、「健康経営」への総合的な取り組みの評価として、2017年～2019年には3年連続で、経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」の認定を取得しています（認定取得：サンシン電気株）。

これらの取り組みを通して、社員のワーク・ライフ・バランスの充実が図られ、“体・こころ・社会”についての健康への意識の向上等に繋がっています。

私たちが「健康経営」の先に目指すもの、それは、社員及びそのご家族の健康と幸せのため、そして、経営理念である「徳のある商人」としての企業戦略とミッション達成のため、健全でサステナブルな“Going Concern with Others（他社と共に繁栄する継続企業）”であり続けることです。

\* 1.健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（10月参加人数：延べ6名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）  
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：紅葉



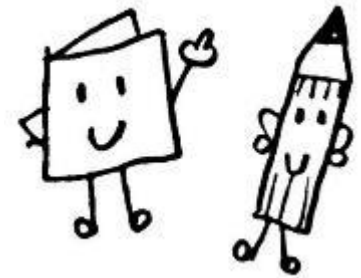


# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2020年5月更新）⇒4年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

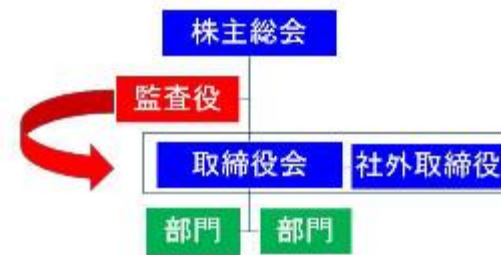
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

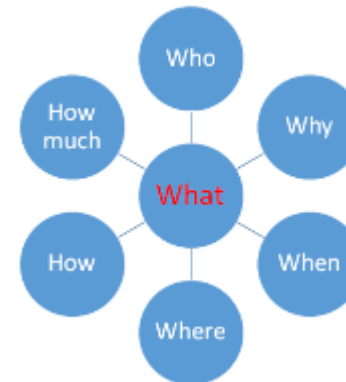
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H



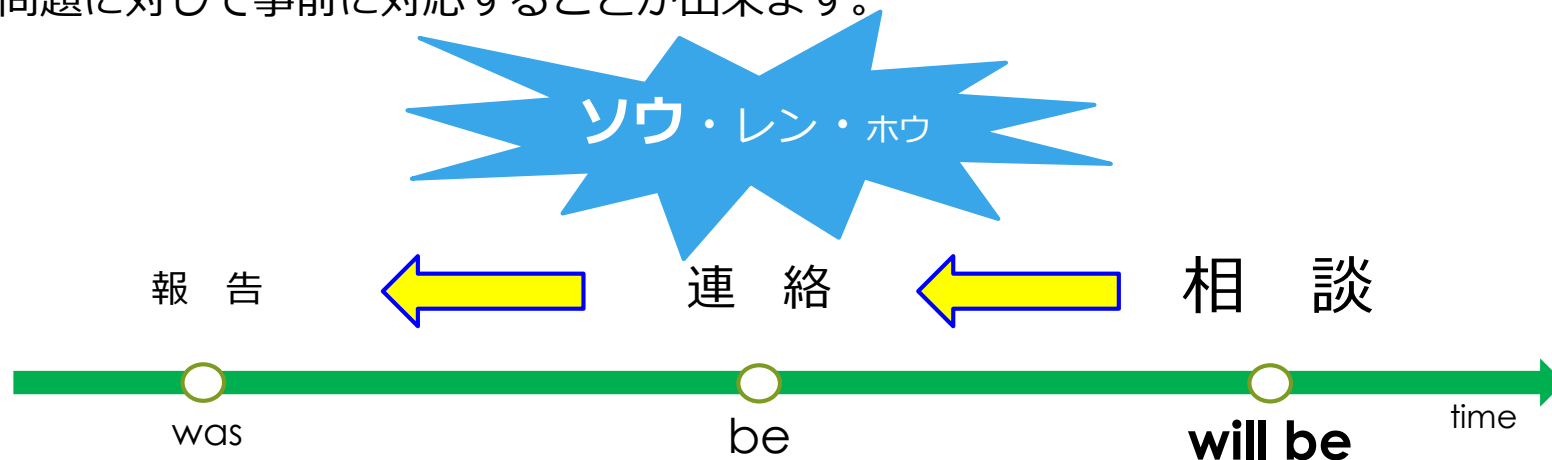
PDCA→P' サイクルの概念





# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集  
後記

サンシン電気 品質管理課 H.O

11月に入り一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みを感じます。空気が乾燥すると鼻や喉の粘膜も乾燥しやすくなりますので加湿に気を付け健康に注意しましょう。いよいよ今年もあとひと月になり年末にかけて忙しい時期になります。皆様も体調管理に気をつけながらお過ごしください。